

2019年度

こども学科 講義計画集

— 第1学年 —

氏名

.....
船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051
.....

2019年度 (平成31年度) 年間計画表

2019.2.18現在

		前 期							後 期																	
		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月				
1	始業式・ガイダンス 卒業生健診	1 水	天皇の即位の日	1 土	学校見学会 C科科目終末試験	1 月	月12回	1 木	学校見学会 成瀬点票締切	2 月	2 火	火12回	2 金	2 土	8回 ひろえは船	1 日	日検シブハス C科科目終末試験	1 水	元日	1 土	学校見学会	1 日	C科科目終末試験			
2	卒業対象生健診	2 木	国民の休日	2 日		2 火	火12回	2 金	成瀬点票締切	3 水	水11回	3 土	3 土	3 日	文化の日	3 火	2 火11回	3 金	3 日	3 金	3 月	月15回	3 火	校内企業説明会		
3	水	3 金	憲法記念日	3 月	月8回	3 水	水11回	3 土		4 木	木12回	4 日	4 日	4 月	振替休日	4 水	水12回	4 土	4 土	4 土	4 火	後 火16回	4 水			
4	木	4 土	みどりの日	4 火	火8回	4 木	木12回	4 日		5 金	金12回	5 月	5 月	5 日	振替休日	5 水	水13回	5 日	5 日	5 日	5 水	水17回	5 木	卒業生登校日		
5	金	5 日	こどもの日	5 水	水7回	5 金	金12回	5 月		6 土	土8回	6 日	6 日	6 日	振替休日	6 金	金13回	6 日	6 日	6 日	6 木	木17回	6 金	卒業式		
6	土	6 月	振替休日	6 木	木8回	6 土	土8回	6 日		7 日	日8回	7 月	7 月	7 月	振替休日	7 土	土9回	7 月	7 月	7 月	7 土	土9回	7 土	学校見学会		
7	日	7 火	火4回	7 金	金8回	7 日	日8回	7 月		8 月	月8回	8 月	8 月	8 月	振替休日	8 土	土9回	8 月	8 月	8 月	8 土	土9回	8 日			
8	前期スタート 月1回	8 水	月曜振替4回	8 土	学校見学会	8 月	月13回	8 木		9 火	火13回	9 金	9 金	9 日	学校見学会	9 月	月10回	9 月	9 月	9 日	9 日	9 月	月11回	9 月	秘書検定	
9	火1回	9 木	木4回	9 日	午前免除試験 日商簿記検定	9 火	火13回	9 金		10 水	水12回	10 土	10 土	10 日	秘書検定 色彩検定	10 火	火12回	10 月	10 月	10 月	10 日	10 日	10 月	10 火		
10	水	10 金	金4回	10 月	月9回	10 水	水12回	10 土		11 木	木13回	11 日	11 日	11 日	振替休日	11 水	水13回	11 月	11 月	11 月	11 土	土13回	11 火	建国記念の日		
11	木	11 土	学校見学会(保蔵者)	11 火	火9回	11 木	木13回	11 日		12 金	金13回	12 月	12 月	12 月	振替休日	12 水	水14回	12 月	12 月	12 月	12 土	土14回	12 水	12 月		
12	金	12 日		12 水	水8回	12 金	金13回	12 月		13 土	土9回	13 日	13 日	13 日	受 付	13 土	土9回	13 月	13 月	13 月	13 土	土9回	13 金	成人の日		
13	土	13 月	月5回	13 水	水9回	13 土	土9回	13 日		14 木	木10回	14 月	14 月	14 月	休 業	14 土	土10回	14 月	14 月	14 月	14 土	土10回	14 火	14 日	終業式	
14	日	14 火	火5回	14 金	金9回	14 土	土9回	14 日		15 月	月10回	15 日	15 日	15 日	休 業	15 土	土10回	15 月	15 月	15 月	15 土	土10回	15 火	15 日	卒業研究発表会 オープンキャンパス	
15	月	15 水	水4回	15 土	土9回	15 日	日10回	15 月		16 火	火10回	16 土	16 土	16 土	休 業	16 日	日10回	16 月	16 月	16 月	16 土	土10回	16 火	16 日	学校見学会	
16	火	16 木	木5回	16 日	秘書検定	16 火	火14回	16 金		17 水	水13回	17 土	17 土	17 土	休 業	17 日	日14回	17 月	17 月	17 月	17 土	土14回	17 火	17 日	就職ガイダンス 就職模試 メイク写真撮影 就職模試	
17	水	17 金	金5回	17 土	土9回	17 日	日14回	17 月		18 火	火10回	18 土	18 土	18 土	休 業	18 日	日14回	18 月	18 月	18 月	18 土	土14回	18 火	18 日	就職ガイダンス 先着体験談	
18	木	18 土	土5回	18 日	月10回	18 火	火10回	18 月		19 水	水14回	19 土	19 土	19 土	休 業	19 日	日14回	19 月	19 月	19 月	19 土	土14回	19 火	19 日	集団面接練習	
19	金	19 日		19 土	土9回	19 月	月14回	19 日		20 火	火10回	20 土	20 土	20 土	休 業	20 日	日14回	20 月	20 月	20 月	20 土	土14回	20 火	20 日	卒業生成績発表会	
20	土	20 月	月6回	20 日	育 育 育	20 火	火10回	20 月		21 水	水10回	21 土	21 土	21 土	休 業	21 日	日10回	21 月	21 月	21 月	21 土	土10回	21 火	21 日	卒業生成績発表会	
21	日	21 火	火6回	21 土	土9回	21 日	日10回	21 月		22 水	水10回	22 土	22 土	22 土	休 業	22 日	日10回	22 月	22 月	22 月	22 土	土10回	22 火	22 日	在校生成績発表	
22	月	22 水	水5回	22 日	学校見学会(保蔵者)	22 火	火14回	22 月		23 土	土6回	23 日	23 日	23 日	休 業	23 日	日14回	23 月	23 月	23 月	23 土	土14回	23 火	23 日	日商簿記	
23	火	23 木	木6回	23 日	保 育	23 火	火15回	23 月		24 土	土6回	24 日	24 日	24 日	休 業	24 日	日15回	24 月	24 月	24 月	24 土	土15回	24 火	24 日	振替休日	
24	水	24 金	金6回	24 日	校内定着ガイダンス	24 火	火14回	24 月		25 水	水11回	25 土	25 土	25 土	休 業	25 日	日14回	25 月	25 月	25 月	25 土	土14回	25 火	25 日	学校見学会(保蔵者)	
25	木	25 土	土6回	25 日	学校見学会	25 火	火11回	25 月		26 水	水15回	26 土	26 土	26 土	休 業	26 日	日15回	26 月	26 月	26 月	26 土	土15回	26 火	26 日	午前免除試験	
26	金	26 日		26 月	水10回	26 火	火15回	26 月		27 土	土15回	27 日	27 日	27 日	休 業	27 日	日15回	27 月	27 月	27 月	27 土	土15回	27 火	27 日	午前免除試験	
27	土	27 月	月7回	27 日	木11回	27 土	土15回	27 月		28 火	火11回	28 日	28 日	28 日	休 業	28 日	日11回	28 月	28 月	28 月	28 土	土11回	28 火	28 日	再試験発表 学校見学会	
28	日	28 火	火7回	28 日	金11回	28 月	月15回	28 日		29 水	水11回	29 土	29 土	29 土	休 業	29 日	日11回	29 月	29 月	29 月	29 土	土11回	29 火	29 日	再試験発表	
29	月	29 水	水6回	29 日	ピシネス文書	29 火	火15回	29 月		30 木	木15回	30 日	30 日	30 日	休 業	30 日	日15回	30 月	30 月	30 月	30 土	土15回	30 火	30 日	学校見学会	
30	火	30 木	木7回	30 日	水曜振替15回 学校見学会	30 火	火15回	30 月		31 水	水8回	31 土	31 土	31 土	休 業	31 日	日15回	31 月	31 月	31 月	31 土	土15回	31 火	31 日	学校見学会	
31	水	31 金	金7回	31 日	学校見学会	31 火	火8回	31 月							休 業											

※年間講義回数
月 30回
火 31回
水 32回
木 32回
金 32回

※月曜日の振替が
年間で4回。
水で3回・木で1回

※9日 月曜振替
15日 月曜振替

※台風など臨時休校が
多い時は12月3週で
対応
※12月23日は
祝日ではない
(天皇誕生日)

※30日 月曜振替

※8日 月曜振替

※体育祭

※30日 水曜振替

※6日 月曜振替

※8日 月曜振替

※30日 水曜振替

※各科研修合宿

こども学科1学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
平成30年度教育目標と検定スケジュール	6
情報処理入門	生越 雅志	7
公務員試験対策演習	生越 雅志	8
保育内容総論(前期)	津田 聡子	9
造形表現(指導法)	小倉 正巳	10
音楽Ⅰ・Ⅱ	中川 菜穂	11
日本国憲法	杉山 剛	13
幼児と人間関係	杉山 剛	14
人間関係(指導法)	杉山 剛	15
教育課程総論	杉山 剛	16
幼児と言葉	杉山 剛	17
言葉(指導法)	杉山 剛	18
教育心理学	杉山 剛	19
社会福祉	杉山 剛	20
教育原理	杉山 剛	21
社会的養護Ⅰ	杉山 剛	22
教職概論	杉山 剛	23
教育方法論	杉山 剛	24
健康科学	向家 真広	25
英会話	藤山 辰次	26
健康(指導法)	杉山 剛	27
教育実習事前事後指導	南部 愛子	28
秘書実務	塚本 美香	29
保育相談支援	南部 愛子	30
生涯スポーツ	向家 真広	31
保育内容総論(後期)	津田 聡子	32
保育の計画と評価	津田 聡子	33
やってみなはれ演習Ⅰ・Ⅱ	生越 雅志	34

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居 高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡してできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいます。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前的大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@chiba-fjb.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にA～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

A	80以上	C	40～49
B	50～79	D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

実習(教育実習・保育所実習・施設実習)について

こども学科は幼稚園教諭二種免許と保育士免許の資格を同時に取得し、保育者として社会で活躍する専門職を養成する学科です。この専門職に就くためには他の教育・保育現場での実習が非常に重要になります。幼稚園実習2回・保育実習3回とも免許・資格の必修単位となります。(どちらか一方の取得は認められません)

学外実習は外部評価が基準になりますので、実習に行くまでの本人の学習内容が基準に満たない場合(基準単位未修得、人物評価等)は実習を実施できない事になります。

近畿大学九州短大スクーリングについて

1年次後期に近大スクーリングがあります。幼稚園教諭二種免許取得の必須単位となります。免許取得の意志がない場合、不参加となります。また、明らかな過失が認められる場合、旅費の負担が生じることがあります。

(詳細は別紙 → スクーリング詳細が決定次第、授業内でガイダンス)

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」

※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする

 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「電子メール」「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡網について

クラスの諸連絡、台風や大雪の休校連絡等で使用します。各自、常に最新の連絡先を更新するようにしてください。登録されたアドレスに連絡がつかない場合、自己責任となります。また、メール連絡の環境に無い場合は担任へ申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃（清掃時間を入り口に掲示）が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム（その他ソフト）をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。（卒業研究等、必要な場合を除く）

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやチャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@chiba-fjb.ac.jp

2019年度 教育目標と検定スケジュール

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人として、社会人としてのモラルを身につけ女性としての感性を育てる。 ・文化や専門的な知識技術を修得する中で、自ら主体的に課題を見つけ学習が姿勢を育てる。 ・仲間と考え学ぶ課程から、他者と共に学びあいと育ちあいの心を育てる。
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭二種 ・保育士 ・社会福祉主事（任用） ・秘書検定2級 ・MOS Word Excel ・医療事務関係の資格（未定）
1年次進級条件 (修得単位、出席日数等以外)	・音彩の会において指定された課題曲のクリア
2年次進級条件 (修得単位、出席日数等以外)	・音彩の会において指定された課題曲のクリア
卒業条件 (修得単位、出席日数等以外)	・幼稚園教諭二種 ・保育士

こども学科

＜方針＞

- ①園児、保護者、同様に愛され、信頼され、尊敬される保育者の養成
- ②経験に基づいた実践的、体験的な保育活動を取り入れ
- ③保育現場に赴き、先輩保育者の手法を学ぶ（ジョブジャブドウイング）
- ④保育現場で必要とされるパソコンスキルの習得
- ⑤“まるとい人間がまるとい人間を育てる”笑顔の溢れる教壇

1年次：保育基礎知識の学習、及び実践的な演習を行う。ジョブジャブドウイングは2コマ。前期午後はビジネスライクセッション学生と合同で、秘書検定2級の取得を目指す。2年次からの諸実習において、いち社人として振る舞えるよう鍛える。公務員試験対策は漢字と一般常識に絞って指導する。

2年次：保育応用知識の学習、及び実践的な演習を行う。ジョブジャブドウイングは4コマ。Office演習として、前期はExcel、後期はWordのMOSを取得させる。義務付けられている諸実習において、基礎的な指導計画を立てられる能力を養う。公務員試験対策は計算問題と判断推理等、ハタラーン学習の方式をとる。

3年次：幼児の保健と医療の基礎知識を学ぶ。後期では医療事務関係の資格の取得を目指す。実践的な演習は教授だけではなく、学生自らが教案を立て、検証させる。ジョブジャブドウイングは5コマ。プレゼンテーションや基礎的なWeb作成技術を学び、現場で応用できる能力を養う。公務員試験対策は過去問題演習と面接、作文指導を行う。

必要な単位の未修得、資質を身に付けていない場合、実習を許可しない。実習後の評価が免許基準を満たさない場合、再実習となる。

					1 学 年												2 学 年												3 学 年											
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月											
1	幼稚園教諭二種 社会福祉主事（任用）																																							
2	保育士																																							
3	秘書検定2級			→																																				
4	MOS Word Excel																																							
5	医療事務関係の資格（未定）																																							

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	情報処理入門	分類	専門科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	30%	20%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

フォルダやファイル操作などのパソコンの操作や、Officeソフトの基本を学ぶ。個人情報の取り扱いを学ぶ。

2. 授業の目標(検定取得など)

パソコンの仕組みを知り、ワードやエクセルを使い簡単な書類を作ることができる。

3. 注意点・要望

授業内での課題の成果で評価します。

4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、タイピング練習、ホームポジション
2	基本的な操作を修得しよう	アプリケーションソフトの起動と終了、ウィンドウ操作、文字の入力など
3	フォルダーとファイルになれよう	ドライブ名、ファイルのしくみ、フォルダーの操作、ファイル名の変更
4	かんたんなおたよりを作成しよう 1	ワープロソフトの機能と操作の基本、おたよりの作成
5	かんたんなおたよりを作成しよう 2	ワープロソフトの機能と操作の基本、おたよりの作成
6	かんたんなおたよりを作成しよう 3	ワープロソフトの機能と操作の基本、おたよりの作成
7	図形を活用しよう 1	動物やお花などイラストの作成
8	図形を活用しよう 2	動物やお花などイラストの作成
9	図形を活用しよう 3	図形を使った地図を作成
10	ビジュアルコンテンツをつくろう	表を作成し、図や写真を挿入する
11	図表が入ったおたよりを作成しよう 1	イラストの入った案内カードや、複雑なレイアウトのおたよりを作成
12	図表が入ったおたよりを作成しよう 2	イラストの入った案内カードや、複雑なレイアウトのおたよりを作成
13	作表とかんたんな計算をしよう	表計算ソフトの機能と操作の基本、クラス表を作成
14	児童台帳を作成しよう	児童台帳を作成する
15	グラフと計算式を活用しよう	身体計測記録表を作成する

備考	社会人経験のある教員がOfficeソフトを通して実践的なスキルを講義し、2年時のMOS取得につなげる
----	----------------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	公務員試験対策演習	分類	専門科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	50%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

公務員試験の対策を行う 1年次は主に一般教養の強化を行う

2. 授業の目標(検定取得など)

文章理解・数的推理・判断推理・資料解釈の問題に慣れ、理解を深める

3. 注意点・要望

一般人レベルの常識を身につける最後のチャンスなので頑張ってください

4. 関連科目

公務員試験一般教養科目

週	テーマ	内容
1	公務員試験対策演習1	文章理解 基本問題
2	公務員試験対策演習2	文章理解 練習問題
3	公務員試験対策演習3	文章理解 予想問題
4	公務員試験対策演習4	文章理解 予想問題
5	公務員試験対策演習5	判断推理 基本問題
6	公務員試験対策演習6	判断推理 練習問題
7	公務員試験対策演習7	判断推理 予想問題
8	公務員試験対策演習8	判断推理 予想問題
9	公務員試験対策演習9	資料解釈 基本問題
10	公務員試験対策演習10	資料解釈 練習問題
11	公務員試験対策演習11	資料解釈 予想問題
12	公務員試験対策演習12	数的推理 基本問題
13	公務員試験対策演習13	数的推理 基本問題
14	公務員試験対策演習14	数的推理 練習問題
15	公務員試験対策演習15	数的推理 練習問題
16	公務員試験対策演習16	数的推理 予想問題
17	公務員試験対策演習17	数的推理 予想問題

備考	
----	--

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	保育内容総論(前期)	分類	専門科目
担当	津田 聡子		
テキスト(出版社)	必要に応じて、資料を配布		
参考資料	保育所保育指針		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

保育所保育指針から保育の全体的な構造をつかみ「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「保育の内容」の関連を理解する

2. 授業の目標(検定取得など)

子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷を踏まえ、保育内容を発達や実態に即した形にできる

3. 注意点・要望

保育所保育指針は全授業で持参すること。

4. 関連科目

保育士養成課程科目全般

週	テーマ	内容
1	ガイダンス / アイスブレイキング・コミュニケーション ①	当授業の概要、進め方、注意点、要望などについてのガイダンス。受講生、担当教員も含めた自己紹介、情報交換 他。
2	アイスブレイキング・コミュニケーション ②	身体運動を伴うアイスブレイキングおよびコミュニケーションゲームを行い、心と体をほぐす重要性を経験し、学習する。
3	保育の全体構造と保育内容	保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容の理解
4	保育の全体構造と保育内容	保育の内容の歴史の変遷とその社会的背景
5	保育の全体構造と保育内容	子どもの発達や生活に即した保育の内容の基本的な考え方
6	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	養護及び教育が一体的に展開する保育
7	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	子どもの主体性を尊重する保育
8	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	環境を通して行う保育
9	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	生活や遊びによる総合的な保育
10	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	個と集団の発達を踏まえた保育
11	保育の基本を踏まえた保育内容の展開	家庭や地域、小学校等との連携を踏まえた保育
12	保育の多様な展開	長時間の保育
13	保育の多様な展開	特別な配慮を要する子どもの保育
14	保育の多様な展開	多文化共生の保育
15	授業のまとめ	当該授業の概要を復習し、保育内容総論(後期)へと繋がるまとめを行う

備考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	造形表現(指導法)	分類	専門科目
担当	小倉 正巳		
テキスト(出版社)	未定		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
様々なパターンの課題に取り組み自由にイメージやアイデアを膨らませて作品を仕上げながら、発想力、想像力を高める。
2. 授業の目標(検定取得など)
個人個人の想像する力を養いながら、子どもたちの表現したいイメージが感じ取れるようにする。
3. 注意点・要望
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	想像力ぬり絵	線画の何ヶ所が欠けている部分を想像して描きたし、ぬり絵を完成させる
2	貼り絵	自由に色を塗った紙を切り、台紙に貼り絵を完成させる
3	自分のロゴを作る	自分自身をアピールする名前のロゴを制作
4	自分のキャラクターを作る	自分自身をアピールする自分キャラクターを制作
5	ポケットの中身を想像する	ポケットを描きその中に何が入っているか、ポケットの柄と中身がシンクロするよう想像力を膨らませて絵を描く
6	三つのお題を絵にする	お題を三つ出し、それを元にストーリーが感じられる絵を描く
7	創造動物を作る	既存の動物と何かを合体させて新しい動物を想像する
8	想像イラストを描く	意味のない形から何かを想像して絵を描く
9	卵の中身	何の卵かをイメージして、その中から何が生まれるか想像して絵を描く
10	情景を想像して絵にする	用意した情景を読み、思いついたシーンを絵にする
11	想像力ぬり絵	クリスマスの朝のシーン、プレゼントの箱の中身を想像してぬり絵を完成させる
12	スクラッチ	テーマにそってアイデアを出し、スクラッチで絵を制作する
13	スパッタリング	厚紙で意味のない形を切り抜き台紙に置き、スパッタリングして現れた形からイメージして絵を描く
14	紙コップで人形を作る	紙コップに色紙などを貼り付け、人形を作る
15	好きな曲を絵にする	自分の好きな曲のイメージを絵にする
16	作品展見学	実際の現場の一年間の幼児の作品、作品展を見学する
17	身体の発達・造形の発達 レポート作成	参考文献をもとに18歳までのそれぞれの発達を表してまとめる

備考	デザイン事務所における制作、フリーランスイラストレーターとしての活動経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	------------------------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	音楽 I	分類	専門科目
担当	中川 菜穂		
テキスト (出版社)	バイエル 音楽ピアノ教本 ポケットいっぱいのおうた		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	20%	0%	40%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
・ピアノ演習の基礎 ・基本コード演習 ・リトミック ・子どもと音楽の考え方
2. 授業の目標(検定取得など)
・楽譜を理解し月ごとに指定された課題曲を仕上げ演奏する ・体を動かしながら2拍子の基礎リズムのパターンを理解する
3. 注意点・要望
音彩の会にて指定された課題曲を合格することが進級の条件です
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	・ピアノ演習基礎 ・子どもと音楽	子どもと音楽の考え方を学び、音楽の大切さ、もたらす影響を考える
2	ピアノ演習 ・和音とコードCdur I IV V	コードを理解し、コード進行を習得する
3	ピアノ演習 ・和音とコードFdur I IV V	コードを理解し、コード進行を習得する 4月課題曲マンスリーチェック
4	ピアノ演習 ・和音とコードGdur I IV V	コードを理解し、コード進行を習得する
5	ピアノ演習 ・和音とコード総合	演奏の基礎と伴奏づくりの仕上げ
6	ピアノ演習 ・基礎リズム	2拍子の基礎的なリズムの導入 5月課題曲マンスリーチェック
7	ピアノ演習 ・基礎リズム	リズムカードによる理論的な把握
8	ピアノ演習 ・基礎リズム	歌唱によるリズム把握
9	ピアノ演習 ・基礎リズム	ステップによるリズム把握
10	ピアノ演習 ・基礎リズム	ピアノのリズムを聴き、リズム表現やステップによるリズム理解 6月課題曲マンスリーチェック
11	ピアノ演習 ・基礎リズム	基礎リズムの組み合わせにより、リズムパターンを経験する
12	ピアノ演習 ・基礎リズム	基礎リズムの組み合わせにより、リズムパターンを経験する
13	ピアノ演習 ・基礎リズム	基礎リズムの組み合わせにより、リズムパターンを経験する 7月課題曲マンスリーチェック
14	音彩の会の組み立て	コンサートに向けて演奏の仕上げ 2拍子のリズムパターンの仕上げ
15	音彩の会	コンサートホールで演奏し音楽のもたらす美しい音色の空間をみんなで共感しあう

備考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	音楽Ⅱ	分類	専門科目
担当	中川 菜穂		
テキスト (出版社)	バイエル 音楽ピアノ教本 ポケットいっぱいのおうた		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	20%	0%	40%	20%	0%	20%	100%		

1. 授業の概要
・基本コードを学び自分なりの伴奏が出来るようになる ・わらべうたや季節の歌を通して子どもと音楽の関係性を学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
読譜力をつけ、指定された課題曲を仕上げ演奏する ・年齢によるわらべうたの由来や目的を理解し遊びに適したわらべうたが歌えるようになる
3. 注意点・要望
音彩の会にて指定された課題曲を合格することが進級の条件です
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	子どもと音楽・ピアノ演習	子どもと音楽の考え方を発達の上からも学び、音楽の大切さ、もたらす影響を考える
2	ピアノ演習 ・わらべうた演習乳児	0歳児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。
3	ピアノ演習 ・わらべうた演習乳児	0歳児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。 9月課題曲のマンスリーチェック
4	ピアノ演習 ・わらべうた演習乳児	1歳児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。
5	ピアノ演習 ・わらべうた演習乳児	1歳児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。
6	ピアノ演習 ・わらべうた演習乳児	2歳児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。10月課題曲のマンスリーチェック
7	ピアノ演習 ・わらべうた演習乳児	2歳児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。
8	ピアノ演習 ・わらべうた演習幼児	幼児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。
9	ピアノ演習 ・わらべうた演習幼児	幼児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。11月課題曲のマンスリーチェック
10	ピアノ演習 ・わらべうた演習幼児	幼児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。
11	ピアノ演習 ・わらべうた演習幼児	幼児の遊びとわらべうたの関係を学びながら演習をする。
12	ピアノ演習 ・トーンチャイム演習	トーンチャイムの特性の理解 音と空間認識 12月課題曲のマンスリーチェック
13	ピアノ演習 ・トーンチャイム演習	全音音階の世界 響き合う音 不協和音
14	ピアノ演習 ・トーンチャイム演習	トーンチャイム演奏法 1月課題曲のマンスリーチェック
15	ピアノ演習 ・トーンチャイム演習	トーンチャイム演奏法
16	音彩の会組み立て	コンサートに向けて演奏の仕上げ トーンチャイム演奏法仕上げ
17	音彩の会	コンサートホールで演奏し音楽のもたらす美しい音色の空間をみんなで共感しあう

備考	幼稚園・保育園にて保育経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	日本国憲法	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	日本国憲法(近畿大学九州短期大学)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

教育者として最低限知っておきたい憲法の知識について学ぶ

2. 授業の目標(検定取得など)

子どもを守る知識、教育を受ける権利、法の下での平等・自由、平和について教育者としての見解を持つ

3. 注意点・要望

専門用語が多いので難しいと感じるかもしれないが、法知識がある教育者を目指してほしい

4. 関連科目

保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	現代の憲法	憲法とは何か 日本国憲法の形式と基本原理
2	国民主権と象徴天皇	国民主権の原理・理念とその具体化 天皇の地位と国事行為
3	基本的人権1	基本的人権の原理 基本的人権の限界 包括的基本権
4	基本的人権2	精神的自由権(思想・良心・信教・表現・学問の自由)
5	基本的人権3	経済的自由権(職業選択・移住・移転の自由及び財産権の保障)
6	基本的人権4	社会権(生存権・教育を受ける権利・労働基本権)
7	基本的人権5	人身の自由(基本原則・被疑者の権利・拷問残虐な刑罰の禁止・刑事被告人の権利)
8	基本的人権6	国務請求権(裁判を受ける権利・賠償請求権・刑事補償請求権・請願権)
9	基本的人権7	参政権(参政権の意味・選挙法の基本原則)
10	基本的人権8	国民の義務(教育を受けさせる義務・勤労の義務・納税の義務)
11	統治機構1	統治機構の原理 国会(地位・構成・機能・運営)
12	統治機構2	内閣(議院内閣制・内閣の組織・内閣の機能)
13	統治機構3	裁判所(司法権・裁判所の組織・裁判所の機能)
14	地方自治	地方自治の本旨 地方公共団体 組織と権能
15	憲法改正	憲法改正の手続きと限界 改正をめぐる動き

備考	短大で同科目の指導経験がある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-----------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	幼児と人間関係	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

領域「人間関係」に関する知識を得、子ども個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら具体的な指導を行う実践力の基礎を培う

2. 授業の目標(検定取得など)

①幼児を取り巻く人間関係の現状を把握し、支援が必要なポイントを理解する。②子どものライフコースにおける人と関わる力の重要性を理解する。③子どもの自律性と集団のなかでの育ちについて理解し、支え合う仲間集団の条件を理解する。

3. 注意点・要望

他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養うことのできる保育者を目指します

4. 関連科目

保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	人間関係の成り立ち	仲間集団と道徳性の育ち
2	集団で育む人間関係1	子どもが自己表現できる集団づくり—保育者の関わり方の基礎
3	集団で育む人間関係2	集団のなかでの「特別な支援」—ジレンマを越えるには
4	保育者の役割	保育者との信頼関係
5	地域社会の役割	地域社会の人々との交流
6	将来を見据えた人間関係	「人と関わる力」と子どもの成長
7	人間関係の現状	核家族化としつけ 家庭支援の必要性
8	人間関係における個人差	発達過程に応じた人との関わり
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

備考	講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。
----	---------------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	人間関係(指導法)	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)			
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。

2. 授業の目標(検定取得など)
 保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する

3. 注意点・要望
 人との豊かな「かかわり」を育てる保育者としての役割を理解し、視点を養うことを目指すので、自らのコミュニケーション力が向上するよう努めること

4. 関連科目
 保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	人間関係の概要	現代社会の子どもを取り巻く今日的課題 領域「人間関係」と他領域との関連
2	発達段階における人間関係	乳幼児の発達と人間関係 遊びの中で育つ人間関係
3	保育者の視点1	幼児期の環境構成や人とのかかわり 保育者に求められている人間関係
4	保育者の視点2	特別な支援を必要とする子どもと他の子どもがともに育ち合うためのかかわり
5	幼稚園・保育園・小学校との連携	さまざまな人々との交流と幼・保・小の交流活動の実践
6	保護者の視点	就学前の子どもの育ちを支える 保育者と保護者の人間関係
7	グローバル社会への対応	子育て支援や預かり保育での工夫 多文化保育と人間関係
8	指導計画	「人間関係」の指導計画
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

備考 講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	教育課程総論	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	あたらしい幼児教育課程総論(同文書院)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

教育課程とは何か、その意義と方向をつかみながら様々な教育課程を学び、指導計画を作成できる能力を養う

2. 授業の目標(検定取得など)

教育課程の組み方で、その教師の力量が判断され、子どもの成長も決まることを念頭に、自分らしい指導計画を立案できる

3. 注意点・要望

自分のやりたい教育・保育を探求する中で、自分と違う教育課程も受け入れる姿勢を持つこと

4. 関連科目

教育実習・保育実習

週	テーマ	内容
1	幼児期の特質	乳幼児期の発達 幼児期の発達課題 生涯学習における幼児期の意義
2	教育課程の意義と方向	教育課程の概念
3	幼稚園教育と保育所保育	幼稚園と保育所の基本的な性格・関係、保育のあり方、その思想と現実
4	教育課程の基準	教育課程に関する法則 幼稚園教育課程の基準の変遷
5	幼児教育課程の基本1	環境を通して行う教育 幼児期にふさわしい生活の展開
6	幼児教育課程の基本2	遊びを通しての総合的な指導 一人一人の発達の特性に応じた指導
7	基礎となる幼児の姿	「遊び」とは何か 「楽しさ」をどうとらえるか
8	目的・目標・ねらい・内容1	目的・目標・ねらいの意味 幼稚園教育の目的と目標
9	目的・目標・ねらい・内容2	園の教育目標 ねらい・内容とその領域
10	教育課程の編成と指導計画の作成1	教育課程編成の手順 「指導」の意義
11	教育課程の編成と指導計画の作成2	指導計画の意義 指導計画の作成
12	教育課程の評価1	教育評価の意義 指導計画と指導の評価
13	教育課程の評価2	教育課程の評価
14	教育課程と指導計画の実例1	2つの園の教育課程と長期指導計画
15	教育課程と指導計画の実例2	ある園の教育課程・指導計画と特色ある年間計画

備考	
----	--

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	幼児と言葉	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	保育士養成課程 保育相談支援		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
 領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身に付ける

2. 授業の目標(検定取得など)
 人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義と機能について、説明できる。言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践について、基礎的な知識を身に付ける。児童文化財(絵本・物語・紙芝居等)について、基礎的な知識を身に付ける。

3. 注意点・要望
 経験したことや考えたことなどを自分なりに言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養わせることを勉強します。自らどんな言葉を選び、どのような態度で聞か探究してほしい。

4. 関連科目
 保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	言葉の定義	言葉の意義や機能
2	言葉と発達	言葉の発達と理解
3	絵本との関係	絵本を生かした保育と絵本の紹介 お話作り
4	児童文化財	幼児における児童文化財の意義
5	表現力の指導	子どもの言葉と表現力
6	読み聞かせ	読み聞かせの意義と魅力 実践における工夫
7	言葉遊び	言葉を楽しむための言葉選び、文字選び
8	言葉まとめ	言葉の発達と表現力
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

備考 講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	言葉(指導法)	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	領域「言葉」入門		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。
2. 授業の目標(検定取得など)
保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する
3. 注意点・要望
言葉を通じ、子どもの生活と遊びにおける他者(保育士等や他の子ども)との関係や集団の中での育ちの理解と援助に関わる知識及び技術を学ぶので、実際の保育士がどのような言葉を選び保育しているかをつかんでほしい
4. 関連科目
保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	言葉の指導とは1	「ことば」指導の意義と目標
2	言葉の指導とは2	「ことば」指導のための基礎的な知識
3	集団で育む言葉の指導	集団保育における保育者の言語的応答性
4	言葉指導の留意点1	保育者の話し方・聞き方
5	言葉指導の留意点2	ことばに障害を持つ子どもへの配慮
6	読み聞かせ指導法	絵本の役割と「読み聞かせ」の意味 集団への読み聞かせ
7	絵本の選定基準1	すぐれた絵本と絵のあり方
8	絵本の選定基準2	絵本の分類とその他の言語資料
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

備考	講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。
----	---------------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	教育心理学	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	教育心理学(近畿大学九州短期大学)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
乳児期から青年期にかけての人間の精神および知能の発達や人格形成などと教育の関係を上げる
2. 授業の目標(検定取得など)
教育過程の諸現象を心理学的に明らかにし、効果的な教育の方法を見つける
3. 注意点・要望
教育の場面に現れる問題を一般心理学の見地から解釈し、実際の教育に応用してほしい
4. 関連科目
教育関連科目、教育実習

週	テーマ	内容
1	心理学の誕生	心理学とは こころの仕組み 実験心理学 構成的心理学
2	人の一生1	心理学の研究テーマ 身体・運動能力の発達 社会性・情動・知的発達
3	人の一生2	脳が存在・しくみ・働きの特徴・痴呆・性役割
4	教育心理学の学習	「興味」こそ学習の原動力 「おもしろい」とは 齢代 新しい能力観
5	勉強するとは1	学ぶ「概念」「表象」「ことば」筋道を立てて考える力 勉強の仕方を知る
6	勉強するとは2	エビングハウスの忘却曲線 勉強へのエネルギー 感覚運動的段階 ものの永続性
7	ことばの発達	ことばとは 記号 前概念 概念の学習 ことばの発達 言語獲得の相互作用説
8	思考の発達	前操作的思考 動作・映像・象徴的表象 知的能力の転換期 概念のヒエラルキー
9	具体的操作から形式的操作	感覚運動から具体的操作知能へ 保存 具体的操作から形式的操作へ
10	子どもは変わる	思考・行動の変化 連合説 認知説 窓枠論 同化と調節
11	学習へのエネルギー	成立条件 「ズレ」の問題 内発的動機づけ 態度の影響 価値観の形成
12	記憶のメカニズム	記憶の3つの過程 忘却の起こり方 記憶の保存
13	知能と教育	知能の測定 正しい発達理論 標準テストの条件 テスト技法 教育の評価
14	子どもの悩み	楽しくない 学校恐怖症 いじめ
15	個性をつくる教育	オーストラリアでの教育 個性と教育 教育心理学における性格の研究

備考	日本教育心理学会所属の教員が、その経験や諸論文をもとに指導を行う。
----	-----------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	社会福祉	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	社会福祉の理論と実際		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

当事者への具体的な支援の事例を通して社会福祉における子ども家庭福祉の全体像を理解する

2. 授業の目標(検定取得など)

社会福祉の中で保育者がどのように関わらなければならないのか考え、日々の保育に役立てる

3. 注意点・要望

施設実習を控える中で、社会福祉施設の役割と機能、その中での保育を想像できるようにしてほしい

4. 関連科目

保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷
2	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷	社会福祉の歴史的変遷
3	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷	子ども家庭支援と社会福祉
4	社会福祉の制度と実施体系	社会福祉の制度と法体系
5	社会福祉の制度と実施体系	社会福祉行財政と実施機関
6	社会福祉の制度と実施体系	社会福祉施設
7	社会福祉の制度と実施体系	社会福祉の専門職
8	社会福祉の制度と実施体系	社会保障及び関連制度の概要
9	社会福祉における相談援助	相談援助の理論
10	社会福祉における相談援助	相談援助の意義と機能
11	社会福祉における相談援助	相談援助の対象と過程
12	社会福祉における相談援助	相談援助の方法と技術
13	社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み	情報提供と第三者評価
14	社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み	利用者の権利擁護と苦情解決
15	社会福祉の動向と課題	少子高齢化社会における子育て支援
16	社会福祉の動向と課題	共生社会の実現と障害者施策
17	社会福祉の動向と課題	在宅福祉・地域福祉の推進、諸外国の動向

備考	
----	--

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	教育原理	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	教育原理(近畿大学九州短期大学)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

教育の本質と意義を理解し、教育に関する基礎的な概念と知識の習得をはかり、子ども家庭福祉等との関りについて理解する

2. 授業の目標(検定取得など)

教育者・保育者として、子どもへの具体的対処、解決方法を幅広く柔軟な視野で自分なりに考え実践していくための能力を培う

3. 注意点・要望

より多くの教育観を学び、様々な価値観を許容できる寛容さを身につけてほしい

4. 関連科目

教育関連科目、教育実習

週	テーマ	内容
1	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	教育の意義
2	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	教育の目的
3	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	乳幼児期の教育の特性
4	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	教育と子ども家庭福祉の関連性
5	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉との関連性	人間形成と家庭・地域・社会等との関連
6	教育の思想と歴史的変遷	諸外国の教育の思想と歴史
7	教育の思想と歴史的変遷	日本の教育の思想と歴史
8	教育の思想と歴史的変遷	子ども観と教育観の変遷
9	教育の制度	教育制度の基礎
10	教育の制度	教育法規・教育行政の基礎
11	教育の制度	諸外国の教育制度
12	教育の実践	教育実践の基礎理論(内容・方法・計画と評価)
13	教育の実践	教育実践の多様な取り組み
14	生涯学習社会における教育の現状と課題	生涯学習社会と教育
15	生涯学習社会における教育の現状と課題	現代の教育課題

備考	
----	--

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	社会的養護 I	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	社会的養護(ミネルヴァ書房)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
社会的養護の意義と歴史の変遷をつかみ、社会的養護の基本を理解し、保育士の視点でどのように子どもを養護すべきか学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
子ども、家庭の現実を把握し、保育士としての任務を遂行できるようにする
3. 注意点・要望
様々な事例を調べ、保育士がすべき対処法をできるだけ多くつかんでほしい
4. 関連科目
福祉関係科目、施設実習、保育所実習

週	テーマ	内容
1	現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷	社会的養護の理念と概念
2	現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷	社会的養護の歴史の変遷
3	社会的養護の基本	子どもの人権擁護と社会的養護
4	社会的養護の基本	社会的養護の基本原則
5	社会的養護の基本	社会的養護における保育士等の倫理と責務
6	社会的養護の制度と法体系	社会的養護の制度と法体系
7	社会的養護の制度と法体系	社会的養護の仕組みと実施体系
8	社会的養護の対象・形態・専門職	社会的養護の対象
9	社会的養護の対象・形態・専門職	家庭養護と施設養護
10	社会的養護の対象・形態・専門職	社会的養護に関わる専門職
11	社会的養護の現状と課題	社会的養護に関する社会的状況
12	社会的養護の現状と課題	施設等の運営管理
13	社会的養護の現状と課題	被措置児童等の虐待防止
14	社会的養護の現状と課題	社会的養護と地域福祉
15	社会的養護のあるべき姿	加害・暴力・虐待の実際 小規模化の養育体制 社会的養護の地域化
16	地域福祉の具体例	地域福祉の理念 地域社会を支える機関・団体・施設
17	ボランティア	活動の進め方 育成と活動援助 展開と課題

備考	
----	--

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	教職概論	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	教職入門(萌文書林)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

保育者の役割と倫理について理解し、専門性を考察しながら資質向上とキャリア形成を目指す基礎を学ぶ

2. 授業の目標(検定取得など)

制度的な位置づけを考えながら、保育者の要件・資質・能力を満たし、保育者同士で連携・協働する志を育む

3. 注意点・要望

できるだけ多くの事例を学び、対応能力をつけてほしい

4. 関連科目

教育関連科目、教育実習

週	テーマ	内容
1	保育者の役割と倫理	役割・職務内容・倫理
2	保育士の制度的位置付け	児童福祉法における保育士の定義
3	保育士の制度的位置付け	資格・要件
4	保育士の制度的位置付け	欠格事由、信用失墜行為及び秘密保持義務等
5	保育士の専門性	保育士の資質・能力
6	保育士の専門性	養護及び教育の一体的展開
7	保育士の専門性	家庭との連携と保護者に対する支援
8	保育士の専門性	計画に基づく保育の実践と省察・評価
9	保育士の専門性	保育の質の向上
10	保育者の連携・協働	保育における職員間の連携・協働
11	保育者の連携・協働	専門職間及び専門機関との連携・協働
12	保育者の連携・協働	地域における自治体や関係機関等との連携・協働
13	保育者の資質向上とキャリア形成	資質向上に関する組織的取組
14	保育者の資質向上とキャリア形成	保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義
15	保育者の資質向上とキャリア形成	組織とリーダーシップ

備考	講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。
----	---------------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	教育方法論	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト (出版社)	幼児教育の方法(北大路書房)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

適切な保育指導を行うために、保育現場で求められている保育者の資質・役割を理解する

2. 授業の目標(検定取得など)

乳幼児の実態に目を向け、幼児理解に努め、保育者としてどのような願いを持ち、どのように援助していくか考える

3. 注意点・要望

様々な指導法がある中で、自分のやりたい保育の指導法は何か模索してほしい

4. 関連科目

保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	イギリスの楽しい幼稚園	登園 日系のソフィ コーナー保育 命令・号令のない保育
2	アクティビティ 遊びの心	保育＝アクティビティという考え方 幼児教育の先哲 遊びと保育
3	幼児教育研究者	ピアジェ ハント ケネディ 知能は遺伝か ヘッドスタート計画 やる気
4	子どもはキャッチボールで育つ	情動的な相互交渉 物とのやりとり 情報・物質・エネルギー
5	キーワードを理解する	「環境」と「経験」「経験」と「相互作用」「応答」と「援助」
6	自ら学ぶところ 発達を促す保育	心理学の謎 「ズレ」の問題 知能は伸びる 第5グループの子どもたち
7	豊かな環境とはどんな環境なのか	感覚と運動はどちらが大切か 変化に富んだ環境
8	応答的保育とは 環境を分析する	支援者としての保育 最適水準のズレ 保育の物理的環境、人口環境等
9	知性の源流をさぐる	知的教育か情操教育か 乳幼児期の教育とは何か
10	保育のランドマークを知る	表象のランドマーク 表象の成立をテストする 前概念
11	ことばを伸ばす ことばによる応答	ことばの働き 言語教育プログラム 「発問」「過程」「受容」 園と家庭
12	ことばと心の応答	子どもの心が見えるか 新任保育者の応答訓練
13	遊びの発生	TVゲームとカラオケ 物と遊びの源流 協応とは
14	遊びとおもちゃの応答性	園で遊ぶおもちゃの応答 遊びと心の応答 保育における遊び
15	援助と応答	援助と指導の比較 活動と援助 援助と応答 応答的保育
16	幼稚園の園だより	事例研究
17	成長へのよろこび	新しい幼児観 新しい保育をめざして

備考	講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。
----	---------------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	健康科学	分類	専門科目
担当	向家 真広		
テキスト (出版社)	講義ごとに必要に応じて資料を配布する。		
参考資料	生涯スポーツ実践論-生涯スポーツを学ぶ人たちへ- 改訂2版、幼児期の運動に関する指導参考資料(文部科学省)など		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	30%	10%	10%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

生活の中での運動(スポーツ)との関連性を確認し、健康や体力に関する知識や関心を高め、スポーツの意味や意義を学ぶ。

2. 授業の目標(検定取得など)

保育の現場で活かせるような運動(スポーツ)や健康に関わった知識や技能を習得する。

3. 注意点・要望

受講生は毎回運動を行う前提の服装で受講すること。授業内容は、当日の状況に応じて柔軟に対応するものとします。

4. 関連科目

幼児体育に関連する全科目

	テーマ	内容
1	スポーツの概念	スポーツの本質的な意味や意義、スポーツの価値について学ぶ。
2	社会生活の変化とスポーツ	社会生活の変化に伴うスポーツの価値や意義について学ぶ。
3	スポーツ・レジャー振興の現状	社会におけるスポーツ参加の現状を知り、レクリエーションスポーツやレジャースポーツに関する理解を深める。
4	健康の定義とその変遷	WHOの健康の定義から現在に至る健康の意味、意義の変化を知り、健康に関する理解を深める。
5	健康・体力と運動	健康が体力や運動と密接に関わっていることを学び、運動の実践をして健康を体感する。
6	こどもの健康・体力と運動	こどもの健康が体力や運動と密接に関わっていることを学び、運動の実践をして健康を体感する。
7	生活における運動・トレーニング	生活における運動の役割や意義を学び、トレーニングに関する知識や理解を深める。
8	健康科学まとめ	健康科学がスポーツや運動との深い関わりがあることを確認し、今後の実践現場でどう活かしていくのかを考える。
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考	現在、本校姉妹園にて幼児体育を指導している教員が、その経験を活かして講義・指導を行う。
----	---------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	英会話	分類	教養科目
担当	藤山 辰次		
テキスト (出版社)	英会話 I (近畿大学九州短期大学)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
社会のグローバル化に伴い、国際結婚も年々増加している中、保育者として簡単な英会話の教養を身につける
2. 授業の目標(検定取得など)
日常、特に保育の現場で簡単な英語での会話ができるようにする
3. 注意点・要望
英会話は楽しむのが一番です！
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	会話の基礎1	文の構造 時制
2	会話の基礎2	文の種類 前置詞
3	会話の基礎3	接続詞 問題
4	会話の基礎4	もっとBRUSH UP しましょう 英文を読んでみましょう
5	保育英語の基礎1	会話基本文
6	保育英語の基礎2	会話基本動詞
7	保育英語の基礎3	保育の英語
8	保育英語の基礎4	歌と遊戯
9	保育英語の基礎5	英文を読んでみましょう！
10	ENGLISH COMMUNICATION 1	HOW TO STUDY 自己紹介
11	ENGLISH COMMUNICATION 2	家族と友達 家と私の町
12	ENGLISH COMMUNICATION 3	余暇と休暇 テレビと映画
13	ENGLISH COMMUNICATION 4	食べ物と飲み物 人々
14	ENGLISH COMMUNICATION 5	行き先案内 旅行
15	ENGLISH COMMUNICATION 6	将来 補足
16	保育英語の応用1	子どもたちと実際に英語で話してみましょう！
17	保育英語の応用2	子どもたちと実際に英語で話してみましょう！

備考	CP Language Communication Academy学園長が、その経験を活かして講義を行う。
----	-------------------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	健康(指導法)	分類	専門科目
担当	杉山 剛		
テキスト(出版社)	健康理論編(近畿大学九州短期大学)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	50%	0%	0%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
 子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。

2. 授業の目標(検定取得など)
 保育における教材等の活用及び作成と、環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。特に子どもの生活と遊びにおける様々な遊具や用具、素材や教材等の特性の理解と、それらの活用や作成に必要な知識及び技術を身につける

3. 注意点・要望
 見立てやごっこ遊び、劇遊び、運動遊び等における体験を多く取り入れるので、自身も楽しんでほしい

4. 関連科目
 幼児体育に関わる全科目

週	テーマ	内容
1	現代の健康	現代人の健康と生活 乳幼児期の発達課題とその特徴
2	健康と遊び	乳幼児期・児童期の子どもの健康な生活と遊び
3	領域「健康」とは	領域「健康」に関する保育内容とその方法
4	健康指導のポイント	園における健康づくりのための保育指導とその援助のしかた
5	健康管理	園における保健・衛生・安全の管理とその問題点
6	年間視点の健康指導	健康保育における四季の生活と遊び
7	1日視点の健康指導	保育の中の健康行事と安全保育 健康生活と遊びの科学
8	これからの健康課題	新しい時代を生きる子どもと健康
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考 講義助手として、園長経験や保育経験のある教員が、各テーマに沿って経験則からの解説を行うことがある。

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	教育実習事前事後指導	分類	専門科目
担当	南部 愛子		
テキスト (出版社)	幼稚園教育要領		
参考資料	実習ノート		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
幼稚園教育実習へ向けての心構えと実践を学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
幼稚園教諭二種免許状取得
3. 注意点・要望
学生が主体的に取り組むようにする
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	実習の目的と意義	実習の概要 自己評価にて自身を知ると共に実習生としての意志と責任を持つ
2	事前学習	子どもの人権 プライバシーについて 書類の種類を学ぶ
3	実習の流れ	幼稚園実習において決定から実習終了までを知る
4	マナーの研修	服装、挨拶、言葉づかい、実習生の生活など自身を取り巻く様々な心得を学ぶ
5	教育実習内容	幼稚園とは何かを学ぶ(日課、職種等)
6	実習日誌について	目標、環境設定、記録、考察等の書き方を細かく具体的に学ぶ
7	オリエンテーションについて	オリエンテーションについて知る 見学、観察、部分、責任実習を知る
8	実習日誌を書く	子ども、教諭の様子を見ながら実習ノートを書くポイントの演習
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

備考	公立保育園園長、本校姉妹園の園長として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-----------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	秘書実務	分類	教養科目
担当	塚本 美香		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	0%	0%	40%	0%	40%	20%	100%		

1. 授業の概要
秘書技能検定2級の取得を通して、社会性を学びます
2. 授業の目標(検定取得など)
秘書技能検定2級
3. 注意点・要望
2ヶ月半で受験日を迎えます
4. 関連科目
なし

週	テーマ	内容
1	NO1～3 一般知識 秘書の資質・職務知識・マナー接遇	【01 秘書の資質】・【02 職務知識】・【03 マナー・接遇 言葉使い1編】 【04 マナー・接遇 言葉遣い2編】
2	NO4～5 一般知識 マナー接遇	【05 マナー・接遇 電話対応編】・【06 マナー・接遇 接遇編】 【07 マナー・接遇 慶事編】・【08 マナー・接遇 弔事編】
3	NO6 一般知識 マナー接遇・技能	【09 マナー・接遇 お見舞い&慶事編】・【10 技能 会議編】 【11 技能 ビジネス文書編】
4	技能	【12 技能 慣用表現編】・【13 技能 郵便業務編】
5	技能・一般知識 過去問題演習	【14 技能 その他】・【15 一般知識】 10回分演習
6	〃	〃
7	〃	〃
8	〃 苦手分野問題演習	〃 10回分のスコアより苦手分野の問題に取り組む
9	仕上げ	〃
10	挨拶練習 スピーチ練習	立ち居振る舞い・話し方を実技を通して学ぶ
11	掃除の仕方・訪問時の注意事項 年賀状の書き方	掃除用具の管理から掃除の基本的な仕方を学ぶ 年賀状の基本的な書き方を行う
12	スーツの着こなし・メイクの仕方 お茶出し・箸の持ち方	スーツの着こなし・ふさわしいメイクの仕方を行う お茶の入れ方から出し方までを行う
13	電話対応練習 お礼状の書き方	2人1組で電話対応練習を行う お礼状の書き方を学び、行う
14	〃	〃
15	総まとめテスト	まとめテストを実施

備考	社会人経験のある教員が秘書技能検定取得を通して、講義をする
----	-------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	保育相談支援	分類	専門科目
担当	南部 愛子		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	保育士養成課程 保育相談支援		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する
2. 授業の目標(検定取得など)
保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する
3. 注意点・要望
4. 関連科目
保育士免許関連科目

週	テーマ	内容
1	保育士の行う子育て支援の特性	子どもの保育とともに行う保護者の支援 日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成
2	保育士の行う子育て支援の特性	保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解 子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供
3	保育士の行う子育て支援の展開	子ども及び保護者の状況・状態の把握 支援の計画と環境の構成
4	保育士の行う子育て支援の展開	支援の実践・記録・評価・カンファレンス 職員間の連携・協働
5	保育士の行う子育て支援の展開 保育士の行う子育て支援とその実際(内容・方法・技術)	社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働 保育所等における支援
6	保育士の行う子育て支援とその実際 (内容・方法・技術)	地域の子育て家庭に対する支援 障害のある子ども及びその家庭に対する支援
7	保育士の行う子育て支援とその実際 (内容・方法・技術)	特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援 子ども虐待の予防と対応
8	保育士の行う子育て支援とその実際 (内容・方法・技術)	要保護児童等の家庭に対する支援 多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

備考	公立保育園園長、本校姉妹園の園長として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	-----------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	生涯スポーツ	分類	専門科目
担当	向家 真広		
テキスト (出版社)	講義ごとに必要に応じて資料を配布する。		
参考資料	生涯スポーツ実践論-生涯スポーツを学ぶ人たちへ- 改訂2版、幼児期の運動に関する指導参考資料(文部科学省)など		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	30%	20%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
運動やスポーツを生涯にわたって行う意味や意義を理解し、自ら身体を動かす体験をして実践と共に学ぶ。
2. 授業の目標(検定取得など)
スポーツに関する基礎的な知識・実践方法を習得し、実生活で活かせるようになる。
3. 注意点・要望
受講生は毎回運動を行う前提の服装で受講すること。授業内容は、当日の状況に応じて柔軟に対応するものとします。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス/アイスブレイキング・コミュニケーション	本授業の概要や進め方、注意点、要望などについてのガイダンス。受講生、担当教員も含めた自己紹介、情報交換 他。
2	生涯スポーツの歴史と定義	幼児教育で、なぜ運動(スポーツ)が重要であるのかを歴史と定義の観点から学び、生涯スポーツの現状の理解を深める。
3	様々なスポーツ	世界にある様々なスポーツや運動、日本のスポーツや運動について学び、実際に活動する。
4	身体を使った運動遊び①	用具(遊具や道具等)を用いない運動を経験し、実践方法について学ぶ。また、その運動の必要性や効果についても理解し、実感する。
5	身体を使った運動遊び②	用具(遊具や道具等)を用いない運動を経験し、実践方法について学ぶ。また、学んだことを生かして、実践していく。□
6	生涯スポーツとヘルスプロモーション	スポーツと健康の関連性を学び、健康を維持するためにスポーツや運動が担う役割に関する理解を深める。
7	生涯スポーツと青少年のスポーツ参加	青少年にとってのスポーツの役割を学び、スポーツの必要性や価値についても理解を深める。
8	運動の基本動作①	子どもの運動の基本動作を知り、その動作について理解を深め、実践する。
9	運動の基本動作②	子どもの運動の基本動作を知り、その動作について理解を深め、実践する。
10	発育発達とスポーツ(運動遊び)①	生まれてから、小学生低学年までの発達段階に応じた運動を学び、実際に経験する。
11	発育発達とスポーツ(運動遊び)②	生まれてから、小学生低学年までの発達段階に応じた運動を学び、実際に経験する。
12	生涯スポーツと高齢者のスポーツ参加	高齢社会の現状を踏まえた上で、高齢者のスポーツについて理解を深める。
13	生涯スポーツとニュースポーツ	「ニュースポーツ」という概念を知り、様々なスポーツへの理解を深める。
14	生涯スポーツと障害者のスポーツ	障害者スポーツの歴史を知り、価値観を広げて、障害者スポーツへの理解を深める。
15	現場学習(実際の現場を体験して)	幼児の運動現場を訪問し、園庭を用いた運動遊びを経験する。また、現場での危機管理に関する予測観点も学ぶ。
16	授業のまとめ	授業の概要を復習し、幼児体育/教育・保育演習応用Ⅱへと繋がるまとめを行う。
17		

備考	現在、本校姉妹園にて幼児体育を指導している教員が、その経験を活かして講義・指導を行う。
----	---------------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	保育内容総論(後期)	分類	専門科目
担当	津田 聡子		
テキスト(出版社)	必要に応じて、資料を配布		
参考資料	保育所保育指針		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	4
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要

保育所保育指針から保育の全体的な構造をつかみ「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「保育の内容」の関連を理解する

2. 授業の目標(検定取得など)

子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史の変遷を踏まえ、保育内容を発達や実態に即した形にできる

3. 注意点・要望

保育所保育指針は全授業で持参すること。

4. 関連科目

保育士養成課程科目全般

週	テーマ	内容
1	発達を学ぶ	保育の基本と理解 ~3ヶ月未満 身体と情緒の発達 抱っこ演習
2	発達を学ぶ	保育の基本と理解 ~6ヶ月未満 身体と情緒の発達 おんぶ演習
3	発達を学ぶ	保育の基本と理解 ~1歳 身体と情緒の発達
4	発達を学ぶ	保育の基本と理解 ~2歳 身体と情緒の発達
5	発達を学ぶ	保育の基本と理解 ~3歳 身体と情緒の発達
6	発達を学ぶ	保育の基本と理解 3歳以上 身体と情緒の発達
7	保育室見学実習 / ミルクづくり	1階保育室に見学実習(0、1歳児・2歳児)/ ミルクづくり演習
8	摂食について学ぶ	原始反射・摂食について学ぶ。 咀嚼、嚥下演習
9	離乳食について学ぶ	乳児期の機能の発達と食形態について学ぶ。 1階保育室、給食室見学。 実食演習
10	睡眠・休息、着脱について学ぶ	睡眠の必要性と体内リズムについて学ぶ。
11	排泄について学ぶ	排泄の自立を学ぶ。
12	清潔について学ぶ	清潔の必要性と習慣について学ぶ。 内的、外的環境
13	水遊び・プール遊び見学	学習内容を振り返り、保育現場での子どもの姿や保育者の援助を見学、記録する。
14	近隣保育園 学外学習	近隣保育園にて現場学習 現場学習からの気づきについて話し合い。
15	近隣保育園 学外学習	近隣保育園にて現場学習 現場学習からの気づきについて話し合い。
16	近隣幼稚園 学外学習	近隣幼稚園にて現場学習 現場学習からの気づきについて話し合い。
17	子どもの作品展見学	造形の授業での学びを振り返りながら、実際の子どもの作品を見る。

備考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	保育の計画と評価	分類	専門科目
担当	津田 聡子		
テキスト (出版社)			
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画(意義と方法の理解)及び評価(子どもの理解に基づく保育の過程の理解)について学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
後期からの保育実践演習に向けて、保育の視点・記録・評価を学び、指導計画を作成する力を養う
3. 注意点・要望
1階の保育室に入るので、健康管理とマナーに注意してほしい。メモも最小限にとどめて記憶し、教室に戻ってから再現する力をつけてほしい。
4. 関連科目
保育実習・施設実習

週	テーマ	内容
1	保育の計画と評価の基本	カリキュラムの基礎理論
2	保育の計画と評価の基本	保育における計画と評価の意義
3	保育の計画と評価の基本	子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)の循環による保育の質の向上
4	保育所における保育の計画	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容及び社会的背景
5	保育所における保育の計画	保育所保育指針における保育の目標と計画の基本的考え方
6	保育所における保育の計画	全体的な計画と指導計画の関係性
7	保育所における保育の計画	全体的な計画の作成
8	保育所における保育の計画	指導計画(長期的・短期的)の作成
9	保育所における保育の計画	指導計画(長期的・短期的)の作成
10	保育所における保育の計画	指導計画作成上の留意事項
11	保育所における保育の計画	計画に基づく保育の柔軟な展開
12	保育所における保育の評価	保育の記録及び省察
13	保育所における保育の評価	保育士及び保育所の自己評価
14	保育所における保育の評価	保育の質向上に向けた改善の取組
15	保育所における保育の評価	生活と発達の連続性を踏まえた保育所児童保育要録

備考	公立保育士として勤務経験のある教員が、その経験を活かして講義を行う。
----	------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【前期】

科目	やってみなはれ演習 I	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
机上では学べないものを、自らの体験を通して学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
保育現場で活かせるスキルの習得をめざし、記録に残す。
3. 注意点・要望
体験したものは、100シートにまとめ提出のこと。評価の対象となります。天候などにより一部内容が変わる場合があります。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	生き物の引継ぎ、100シートの説明・記入、3号館施設の確認
2	レク	
3	端午の節句	兜の飾り付け、折り紙など
4	畑	畑づくり、夏野菜、ゴーヤを植える
5	避難訓練	トレポンテ保育園の避難訓練の見学など
6	ボランティア	船橋市内のごみ拾い
7	体育祭準備	ボンボン作成や競技決め
8	救命講習	心肺蘇生、AEDの使用方法など
9	夏野菜の収穫	畑にて野菜の収穫
10	中津川公園	ザリガニ釣りなど、野原での遊びを学ぶ
11	着付け	ゆかたの着付け
12	七夕の飾り付け、バスレクについて	七夕飾りを作り、笹に飾る・研修合宿のバスレクを考える
13	研修合宿	海辺での実習を通し、魅力や危険を知る
14	みどり台夏まつりについて	夏祭りに向けての準備
15	まとめ	

備考	幼稚園・保育園の職員経験者の職員と共に、常に現場を意識した授業となります。
----	---------------------------------------

こども学科	1年
-------	----

【後期】

科目	やってみなはれ演習Ⅱ	分類	教養科目
担当	生越 雅志		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	なし		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
机上では学べないものを、自らの体験を通して学ぶ
2. 授業の目標(検定取得など)
保育現場で活かせるスキルの習得をめざし、記録に残す。
3. 注意点・要望
体験したものは、100シートにまとめ提出のこと。評価の対象となります。天候などにより一部内容が変わる場合があります。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	学園祭準備	若幸祭の企画を考える
2	学園祭準備	若幸祭の企画を考える
3	学園祭準備	若幸祭の企画を考える
4	学園祭準備	若幸祭の企画を考える
5	学園祭準備	若幸祭の企画を考える
6	学園祭準備	若幸祭の企画を考える
7	学園祭準備	若幸祭の企画を考える
8	学園祭の反省	若幸祭の反省
9	救命講習	心肺蘇生とAEDの使い方を学ぶ
10	みどり台幼稚園交流会	みどり台幼稚園の園児との交流
11	みどり台幼稚園交流会	みどり台幼稚園の園児との交流
12	クリスマス準備、もちつき企画	ツリーの飾り付け、餅つきの企画をする、大掃除
13	餅つき	全員でお餅つきをする
14	お正月遊び	百人一首など、伝承遊び
15	お正月のおもちゃ作成	凧あげやふくわらいなど
16	節分準備	鬼のお面作成、歌やダンス
17	節分	トレポンテ保育園の園児との交流

備考	幼稚園・保育園の職員経験者の職員と共に、常に現場を意識した授業となります。
----	---------------------------------------

